

報道関係者各位

2026年10月16日
株式会社さとゆめ

地方創生プロデュースのさとゆめとHISが、 鋸南町と「新しい目的地づくり」に関する協定を締結

～海・山・花・歴史・文化の魅力をつなぎ、鋸南町ならではの「新しい目的地」へ

周遊・滞在型の観光を通じた持続的な地域活性化を推進～

全国 50 エリア以上で地方創生事業のプロデュースを行う株式会社さとゆめ（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：嶋田 俊平、以下「さとゆめ」）は、株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：澤田 秀太、以下「HIS」）と共に、鋸南町（町長：白石 治和）と「新・目的地創出事業－Destination Create Project－」（以下「DCP」）（※1）に関する包括連携協定を締結しました。

本協定を通じて、鋸南町が有する豊かな自然、歴史、文化、食などの地域資産を活かした観光コンテンツの造成や、国内外からの誘客、関係人口の創出などに取り組み、鋸南町ならではの「新しい目的地づくり」を推進します。



左から、HIS 法人営業本部 グループリーダー 山田 絢乃氏、鋸南町長 白石 治和氏、さとゆめ 代表取締役 嶋田 俊平

(※1)「新・目的地創出事業－Destination Create Project－」

新たな旅の目的地を創造することで人々が人生の目的地を見つめ、生き方・暮らし方・働き方をアップデートするプロジェクト

・DCP 公式サイト：<https://dcpweb.jp/>

■協定の目的

千葉県房総半島の西南に位置する鋸南町は、北部に標高 329 メートルの鋸山（のこぎりやま）を擁し、西は東京湾に面する、海と山に囲まれた温暖な地域です。鋸山の南側に位置することから「鋸南町」と名付けられ、豊かな自然環境とともに、歴史・文化が息づくまちとして発展してきました。町の象徴の一つである鋸山には、約 33 万平方メートルに及ぶ鋸山日本寺の境内が広がり、独特の岩壁や東京湾、富士山などを望む雄大な景観を有しています。また、町内には「水仙ロード」や「をくづれ水仙郷」をはじめ、河津桜を「頼朝桜」として親しまれている花の景観、東京湾に面した海岸線など、多彩な自然資源があります。

さらに、浮世絵師・菱川師宣の生誕地として知られるなど、歴史・文化資源も豊富であると共に、廃校を活用した「道の駅 保田小学校」では、地域の農産物を扱う直売所や飲食、宿泊などの機能を備えた交流拠点として、多くの来訪者を迎えています。

一方で、これらの地域資源を個々の観光スポットとして楽しむだけでなく、町内を周遊し、地域の人々や文化、暮らしに触れながら滞在する観光へとつなげていくことが、今後の地域活性化に向けた重要なテーマとなっています。

鋸南町では、2026 年度から「みんなでつくる三ツ星のふるさと・鋸南」を将来像とする総合計画後期基本計画がスタートし、観光分野においても、道の駅を核とした観光振興、観光資源のブラッシュアップや周遊ルートの確立、滞在時間の延長などを進めています。

弊社と HIS は、これまで培ってきた地域伴走型の地方創生ノウハウや観光事業の知見、国内外のネットワーク等を活かし、鋸南町が有する自然、歴史、文化、食、人の営みなどの地域資産を磨き上げ、それらをつなぐことで、鋸南町ならではの観光コンテンツや新たな滞在・周遊のあり方を創出していきます。2026 年 5 月に HIS から 1 名が総務省の「地域活性化企業人制度 (※2)」により鋸南町に着任し、現地に根差した取り組みを開始しており、町や地域の皆さまと連携しながら、具体的な事業づくりを進めていきます。

また、国内外からの誘客や地域における消費・交流、関係人口の創出、地域事業者との連携を通じて、持続可能な地域経済の活性化を図り、鋸南町を新たな旅の目的地へと発展させていくことを目指します。

(※2)「地域活性化起業人制度」

三大都市圏に所在する企業等の社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間地方自治体において、地域独自の魅

力や価値の向上等に繋がる業務に従事することで、地方自治体と企業が協力して、地方へのひとの流れを創出できるよう、総務省が支援する制度

■協定に基づく連携事項

- (1) 地域振興・地方創生に関すること。
- (2) 観光・地域の魅力発信に関すること
- (3) インバウンドに関する戦略策定・実行に関すること
- (4) 観光施設等への誘客促進に関すること。
- (5) 関係人口の創出に関すること。
- (6) 企業の誘致・連携に関すること。
- (7) SDGs の推進に関すること。
- (8) 自然環境の活用及び保全に関すること。
- (9) 文化・産業・観光振興に関すること。
- (10) その他目的達成のため必要とすること。

■各代表コメント

鋸南町長 白石 治和 氏

鋸南町は、海と山、そして里の風景が身近にある、自然豊かな町です。温暖な気候にも恵まれ、四季折々の景色や食、そして人のあたたかさが、この町の大きな魅力であります。

一方で、この町を取り巻く状況は人口減少や地域の担い手不足など、さまざまな課題があります。このような中で、「新・目的地創出事業」に取り組んでおられる株式会社エイチ・アイ・エス様と、株式会社さとゆめ様が持つ発信力やネットワーク、そして地域の魅力を掘り起こし、形にしていく豊富な知見と実績に、大きな期待を寄せています。

この協定締結を新たなスタートとして、両社としっかり手を携えながら、町の未来につながる新しい目的地づくりを進めてまいります。

さとゆめ 代表取締役 CEO 嶋田 俊平

鋸南町には、10 年ほど前に、道の駅保田小学校の視察に訪れたことがきっかけで、地域の方々とご縁ができ、何度かお伺いして、道の駅のコンセプトの斬新さ、豊かな自然の魅力にほれほれしておりました。

我々さとゆめも、その後 10 年間の間に、分散型古民家ホテル「NIPPONIA 小管 源流の村」、鉄道沿線の活性化事業「沿線まるごとホテル」など様々な事業を立ち上げ、日本人にもあまり知られていなかった村や集落に多くの外国人が訪れるようになっていきます。

また、HIS 様との共同事業「Destination Create Project」では、我々のノウハウと、HIS 様の旅行商品造成、誘客、プロモーション等のノウハウを組み合わせ、インバウンドの新しい目的地づくりに取り組んでいます。

こうした経験を活かし、鋸南町の発展に微力ながら貢献できればと考えております。

HIS 法人営業本部 第二事業部 グループリーダー 山田 絢乃 氏

鋸南町には、鋸山や頼朝桜をはじめとする豊かな自然と歴史、そして「道の駅 保田小学校」に代表される先進的な取り組みなど、世界に誇る観光資源があります。

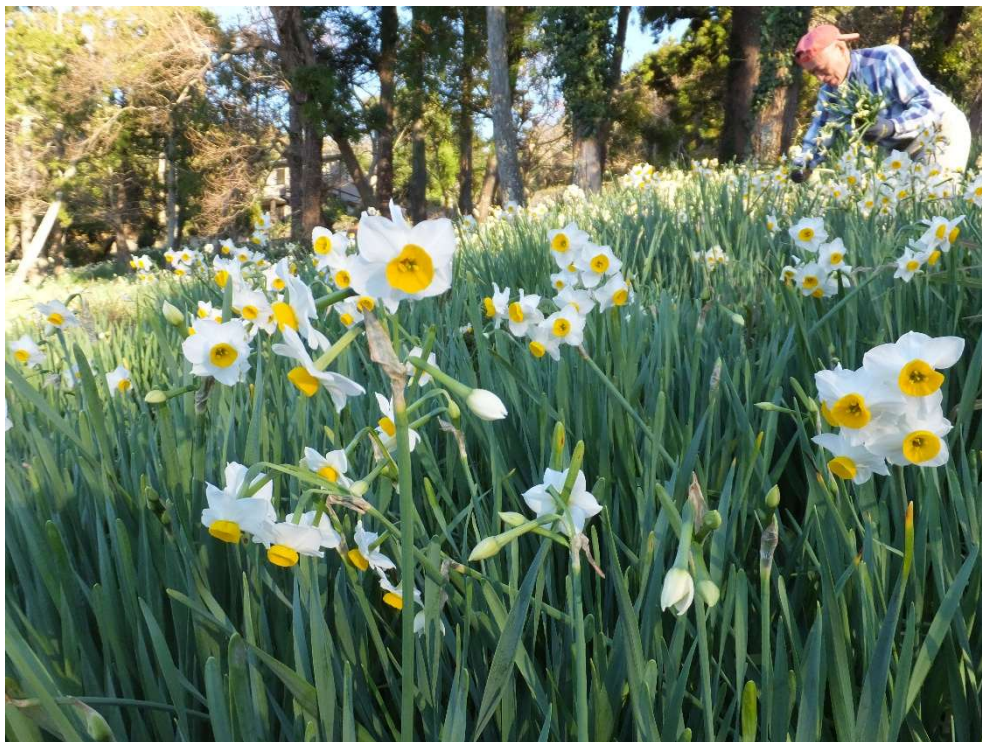
都心からのアクセスも良く、インバウンドも含めたさらなる成長可能性を強く実感しております。

今回の協定を機に、弊社 HIS が持つグローバルなネットワークや事業経験と、さとゆめ様が培われてきた地域伴走型のノウハウを掛け合わせ、地域の皆さまと連携しながら、鋸南町の課題解決と地域経済の活性化に取り組んでまいります。

さとゆめ様とともに、鋸南町の持続可能な未来に向けて邁進してまいります。



絶景と歴史がつまった鋸山から見た鋸南町



鋸南町は水仙の日本3大群生地の一つ



見返り美人図で有名な浮世絵師 菱川師宣記念館

【株式会社さとゆめ 会社概要】

さとゆめは、「Local Business Incubator ～人を起点として、地域に事業を生み出す会社～」を、コーポレートアイデンティティとする、地方創生に特化した、伴走型の事業プロデュース会社です。全国 50 以上のエリアで、計画策定から事業の立上げ・運営まで、地域に伴走しています。

JR 東日本との協業による「沿線まるごとホテル」（東京都奥多摩町・青梅市）、「700 人の村がひとつのホテルに。」をコンセプトとする「NIPPONIA 小菅 源流の村」（山梨県小菅村）、地域と企業の協働による保養地づくり「癒しの森事業」（長野県信濃町）、町単独のアンテナショップ&地域商社事業「かほくらし」（山形県河北町）等、人を起点に様々な事業創出に取り組んでいます。

所在地：東京都千代田区九段南 3-4-5 ビラ・アベックス市ヶ谷 801

設立：2012 年 4 月 17 日

事業内容：地方創生に特化した事業プロデュース、伴走型コンサルティング

URL：<https://satoyume.com/>

【HIS 会社概要】

HIS は、“「心躍る」を解き放つ”をパーパスに掲げ、あらゆる出会いと繋がりを創出し、豊かにかげがえのない時間の創出、相互理解を促進することで、世界を近づけ、新たな価値を提供し続ける総合旅行事業者です。

法人営業本部では、企業、官公庁、教育機関といった法人のお客様に対し、旅行手配のみならず、お客様のビジネス成功を後押しする多様なソリューションを提供しています。従業員エンゲージメントの強化、コスト最適化、危機管理、地域活性化、魅力ある学校づくりなど、お客様が直面する様々な課題に対して、最適な選択肢を提示しています。

所在地：東京都新宿区西新宿六丁目 13 番 1 号 住友不動産新宿セントラルパークビル

設立：1980 年 12 月 19 日

事業内容：旅行事業、ホテル事業、損害保険事業等

URL：<https://www.his.co.jp/>

【自治体関係のお問い合わせ先】

「Destination Create Project」事業 <https://x.gd/7HWHn>

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社さとゆめ 担当：大戸

TEL：080-9153-8361 Mail：oto@satoyume.com